

2023.2.18

2023年 JODA ナショナルチーム最終選考会

支援チームガイド

このガイドは大会を安全に行うための、支援艇へのお願いであり、「規則」ではありません。
また、いずれの記載事項も「規則」を変更していません。



2023年 JODA ナショナルチーム最終選考会
レース委員会

■ コミッティ・ボート一覧

配置	艇名	艇仕様	コール・サイン
シグナル・ボート	浦風	Hard Boat	シグナル
ピン・ボート	グランパス	Rib	ピンボート
1マーク & フィニッシュ・ボート	NORO	Hard Boat	マークワン
2マーク&フィニッシュ・ピンボート	SWC	Rib	マークツー
ジュリー・ボート1	恵風	Rib	ジュリーワン
ジュリー・ボート2	モリゾー	Rib	ジュリーツー
テクニカルコミッティー	クリスティーナ	Rib	テクニカル

■ 支援者艇一覧

No.	クラブ	艇名	無線機番号
1	KMC 横浜ジュニアヨットクラブ	ミライ	21
2	横浜ジュニアヨットクラブ	TG-WAVE	22
3	夢の島ヨットクラブ	BROS.Jr	23
4	江の島ヨットクラブジュニア	UMINARI	24
5		FZR	25
6	広島セーリングスクール	AVON	26
7	B&G高松海洋クラブ	SKY	27
8	B&G 別府海洋クラブ	アンドリュー	28
9	江東区立小中学校セーリング部	ユリート1	29
10	海陽海洋クラブ	海風	30
11	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	WHITE HOPE	31
12		WHITE CAP	32
13	葉山町セーリング協会	織機Ⅲ	33
14	個人会員（長堀 裕樹）	Scherzo	34
15	熱海ジュニア海洋クラブ	サンレモⅡ	35

以下のクラブについては固有の支援艇がありません。

宜野湾はごろも海洋少年団

倉敷ジュニアヨットクラブ

B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ

■ 参加選手一覧 (セールNo 昇順)

No.	セール番号	名前	クラブ
1	3041	水谷 光一	江の島ヨットクラブジュニア
2	3153	長堀 滉	個人会員
3	3157	畠中 紗英	江の島ヨットクラブジュニア
4	3178	久保田 夏実	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ
5	3184	山本 汐穂	B&G高松海洋クラブ
6	3228	白鳥 友治	KMC横浜ジュニアヨットクラブ
7	3240	佐藤 愛湊	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ
8	3244	渡辺 蔦	KMC横浜ジュニアヨットクラブ
9	3254	和田 悠生	B&G高松海洋クラブ
10	3286	須永 言葉	夢の島ヨットクラブ
11	3325	大坪 築	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ
12	3335	岡田 晴	海陽海洋クラブ
13	3347	斉脇 侑祐	B&G別府海洋クラブ
14	3351	松永 虎汰郎	江の島ヨットクラブジュニア
15	3355	角森 未岬	海陽海洋クラブ
16	3356	中澤 太郎	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ
17	3357	平良 海咲	宜野湾はごろも海洋少年団
18	3358	青山 侑友	葉山町セーリング協会
19	3359	中川 出帆	葉山町セーリング協会
20	3363	池田 ななみ	江東区立小中学校セーリング部
21	3381	岩波 将吾	江の島ヨットクラブジュニア
22	3386	高梨 匠海	熱海ジュニア海洋クラブ
23	3396	川島 豪太	江の島ヨットクラブジュニア
24	3407	藤田 翔伊	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ
25	3408	濱川 航英	海陽海洋クラブ
26	3409	實松 莉歩	江東区立小中学校セーリング部
27	3410	長井 美帆	江東区立小中学校セーリング部
28	3412	加原 弦季	江の島ヨットクラブジュニア
29	3413	岡野 凜音	倉敷ジュニアヨットクラブ
30	3414	檜垣 俊忠	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ
31	3422	豊澄 隆成	広島セーリングスクール
32	3425	兒島 惟高	江の島ヨットクラブジュニア
33	3432	堀野 葵	B&G兵庫ジュニア海洋クラブ
34	3436	秋田 海斗	江の島ヨットクラブジュニア
35	3437	川北 智大	B&G高松海洋クラブ
36	3438	前田 海悟	横浜ジュニアヨットクラブ
37	3441	飯島 來海	江の島ヨットクラブジュニア
38	3446	中田 航誠	江の島ヨットクラブジュニア
39	3447	三浦 太輝	夢の島ヨットクラブ
40	3448	芹沢 碧月	江の島ヨットクラブジュニア

■ 海陽ヨットハーバーへの支援者艇出艇・帰着申告について

- ・海陽ヨットハーバーからの安全確保の視点からの要請により、選考会期間中も各チームの支援者艇は海陽ヨットハーバー受付にて海陽ヨットハーバー向けの出艇・帰着申告を実施下さい。
海陽ヨットハーバーへの出艇申告時に供与される数字の入った黄色旗の掲揚は不要ですが、海陽ヨットハーバーへの帰着申告時に返納下さい。
レース艇については組織委員会が一括で出艇・帰着申告を行いますので、海陽ヨットハーバーへの出艇・帰着申告は不要です。

■ 組織委員会が貸与する「ピンク旗」について

- ・組織委員会が貸与する「ピンク旗」は、**2月23日**の支援者艇出艇申告時に引き渡します。
各支援者艇は各チームが用意する、「水面から1.5m以上の高さ」のポールにセットして、艇上に掲揚ください。
(公示18.1 iv)
- ・ピンク旗は各支援者艇の責任で保管し、**2月26日**の帰着申告時に返納下さい。

■ 選考会への支援者艇出艇申告について

支援者艇の出着艇申告場は西棟ロビーに設置し、各日共08:45にオープンします。
支援者艇出艇申告時に、支援者艇にデジタル無線機を貸与します。
デジタル無線機はチャンネルロック、通電状態でお渡しします。その場で通信可否を確認下さい。
無線機の正常を確認したら、出艇申告にサインして下さい。

■ 海陽ヨットハーバーポンドでのお願い

- ・出港、帰港時は、「レース艇」「運営艇」優先でお願いします。
- ・ポンド内はデッド・スローで航行し、引き波を立てない様、お願いします。
- ・艇を曳航する場合、港の入口から離れ他の艇の出入港に支障の出ない場所で係索して下さい。

■ 支援者艇との協業での安全確保

- ▶ **選手が安全に競技が出来るであろうコンディションでは、大会オフィシャル・ボートのみで安全確保を行います。**

(参考：指示22.3 NP)

支援者艇は、準備信号からレースが終了するまで、またはレース委員会がレースの延期あるいはレースの中止の信号を発するまで、添付図Bにある支援艇航行止区域に入ってはならない。

(参考：指示22.4)

指示22.6で規定された救助活動に従事する場合を除き、引き波の影響をレース中の艇に与えてはならない。

(参考：指示22.5 DP)

支援者艇は、レース委員会、プロテスト委員会またはテクニカル委員会から、コース・エリアからさらに離れるよう指示された場合、直ちに従わなければならない。

- ▶ 選手の安全に懸念発生が予測されると判断した場合、シグナル・ボートの指示でのコミッティ・ボート上の「V旗」掲揚と、シグナル・ボートからの通信指示により、指示22.6に基づいた安全確保のための活動協力を展開いたします。

(参考：指示22.6)

規則37を以下の様に変更をする。

レース委員会が音響1声とともに、レース委員会艇にV旗を掲揚した場合、指示22.2の傍受専用は適用されず、捜索と救助の指示を受けるために無線の発信を許可する。

さらに、支援者艇はレースをしているエリアを含む全てのエリアにおいて、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。

この場合、指示22.3の前段は適用されない。ただし、支援者艇は艇に対して救助活動を除いた援助を与えてはならない。

- ・ **シグナル・ボートの指示で支援艇は通信チャンネルを1CHから3CHに変更して下さい。**
支援者艇は3CHを使用して安全確保に向けた交信を解禁します。
コミッティ・ボートからも、3CHを使用して必要な情報を展開します。
- ・ 支援者艇を出艇させているチームの艇が危険な状態であると判断した場合、乗員の安全を確保する監視行動を取りながら、**該当チーム支援者艇を呼び出し下さい。**
 - ① 該当チーム支援者艇は現場に向かって下さい。
 - ② 該当チーム支援者艇が到着するまで、乗員の安全確保をお願いします。
 - ③ 該当チーム支援者艇が到着したら、該当チーム支援者艇に「状況を引き継ぐ」ことを連絡して他の艇の安全確保を行って下さい。
 - ④ 該当チーム支援者艇の到着遅れ、到着不能な状況下で乗員の安全が懸念される場合、または乗員から救助要請があった場合、速やかな乗員救助をお願いします。

(参考：指示18.6 NP)

救助を必要とする選手は、笛を吹くかパドルまたは片腕を振って知らせなければならない。

- ・ **支援者艇を出艇させていないチームの艇が危険な状態であると判断した場合、乗員の安全を最優先に必要な救助活動を行って下さい。**
 - ① 乗員の安全確保をお願いします。
 - ② 乗員の安全が懸念される場合、または乗員から救助要請があった場合、速やかな乗員救助をお願いします。
- ・ **自チームの艇をリタイヤさせる場合、乗員を救助した場合は、CH03でシグナル・ボートへの連絡をお願いします。**

■ 選考会への支援艇帰着申告について

- ・ 支援者艇が帰着したら、貸与したデジタル無線機を持参し速やかに支援艇帰着申告を行って下さい。運営役員がその場でデジタル無線機の作動確認を行いますので、立ち合い確認をお願いします。作動確認が完了したら、運営役員が返却サインを行います。

■ 大会が貸与するデジタル無線機の取り扱い説明

- ・通信機の保全是、各支援艇の責任でお願いいたします。
取扱い不備、落下による破損、水没等の場合、現物弁済をお願いする場合があります。

▶ この状態で貸与いたします。



※ 緊急時以外は傍受専用です。発信は行わないで下さい。

▶ シグナル・ポートからの指示があった場合、CH03に変更し送受信を許可します。

【操作手順】

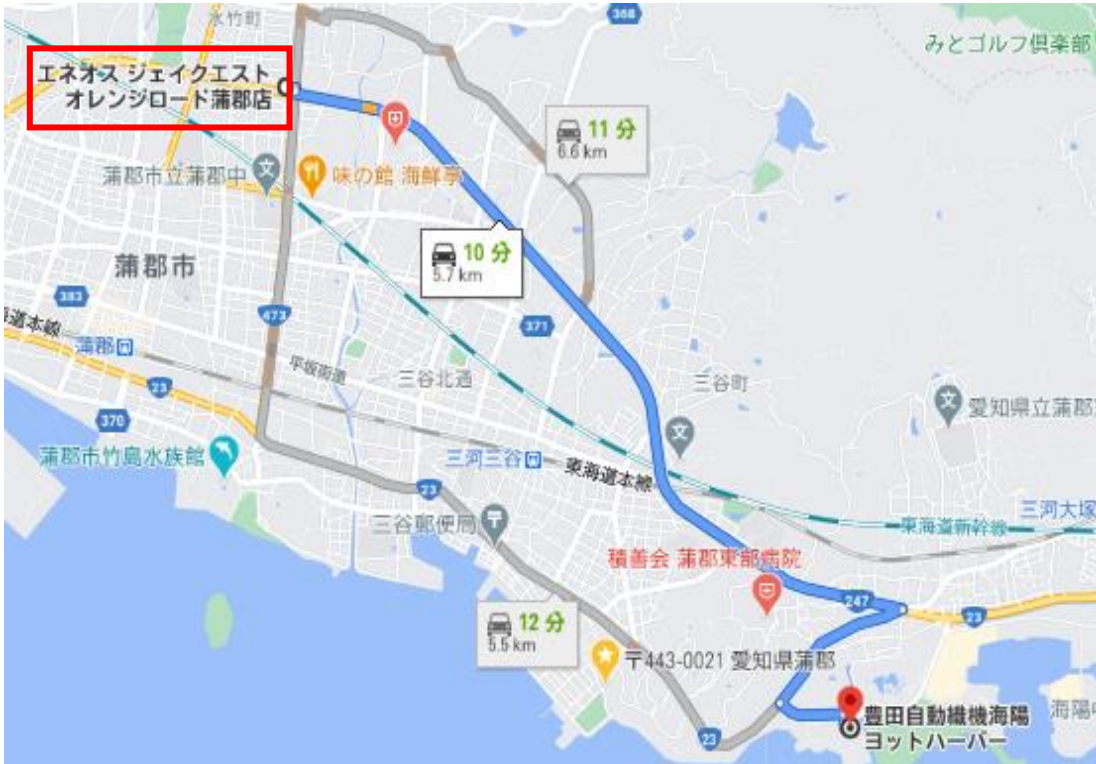


④ ロックボタンを長押ししてチャンネルをロックします。

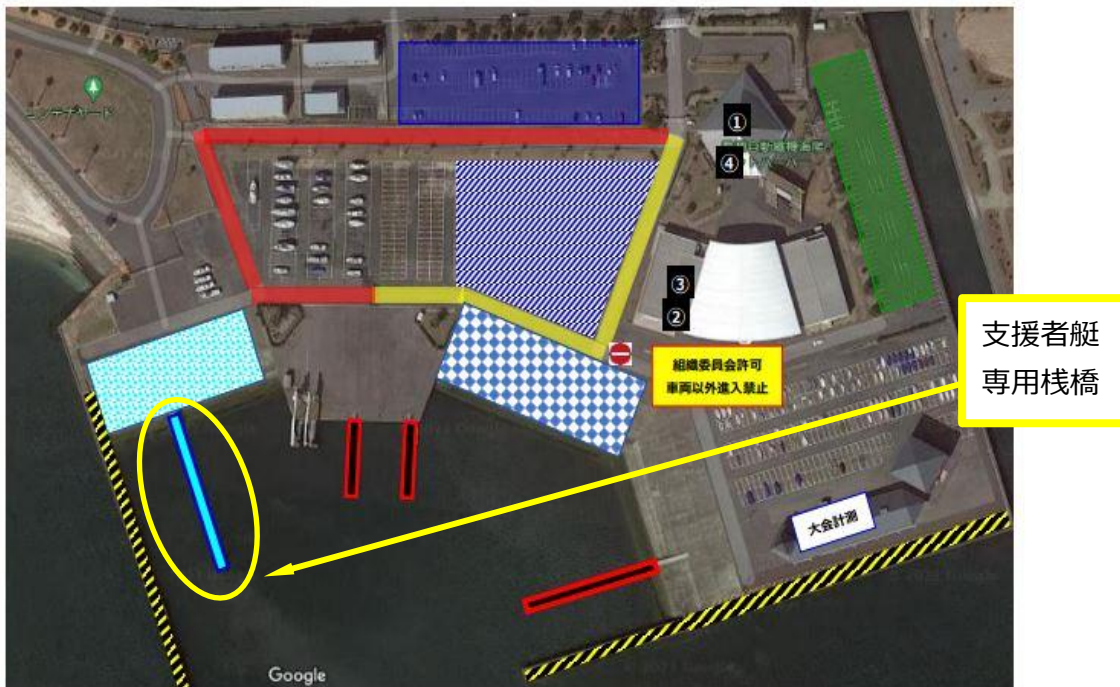


■ 支援者艇の給油について

- ・ 豊田自動織機 海陽ヨットハーバーには給油施設はありません。
至近のラグナ・マリーナには給油施設がありますが、マリン価格なので割高となります。
携行タンクを持参され、ガソリンスタンドでの補給をお勧めします。
蒲郡市は比較的ガソリン価格が高いスタンドが多いです。
豊田自動織機海陽ヨットハーバーから車で10分ほどで市内最安値のスタンドがあります。



■ 豊田自動織機海陽ヨットハーバーでの係留場所



指定の棧橋への係留を遵守下さい。